

## 町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字塩原 斗塩
2. 社名等 地藏堂
3. 種別、祭神及び仏像名 弘法大師 外12体
4. 創建年代 不明
5. 形状 座像

(1) 全高	高	4.5 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	31.5 cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	2.9 cm	巾	1.6 cm
(4) ひざ張り	高	4.5 cm	巾	1.8 cm
(5) 台座	高	5.5 8 cm	巾	2.0 2.7 cm
(6) 持もの				

現在の状況 優 ◎ 可

## その他参考事項

創建 定かでない。

祭礼 春秋の彼岸に地域住民全員にて祭礼を行っている。

由来 定かではないが明治10年頃、塩原地区の仏像を合祀したもので寺号と相違するかと考える。



## 町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字菅尾 川池谷
2. 社名等 天満宮
3. 種別、祭神及び仏像名 菅原道真公 外1体
4. 創建年代 不明
5. 形状 座像

(1) 全高	高	37 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	27 cm	巾	12 cm
(4) ひざ張り	高	4 cm	巾	14.5 cm
(5) 台座	高	4.5 5 cm	巾	19 21.3 cm
(6) 持もの				

現在の状況 優良可

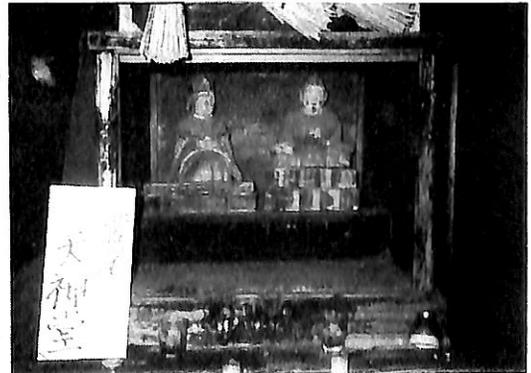
## その他参考事項

創建 不明

祭礼 毎年9月25日部落行事として行っている。

※ 近年までは奉納相僕が行われ、近郷数ヶ村から若人が集まり、出店が張られて盛大であった。

由来 一説によると道真公が刺客から逃れる途中一老婆の気転より無事菅尾を経て大宰府へ帰られることができたという、その縁により天満宮を創建されたと云う菅原の菅と逃のびた先(尾)をとり菅尾と呼ばれるようになったとも云われている。



## 町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字菅尾 南園
2. 社名等 長寿寺
3. 種別、祭神及び仏像名 十一面観音像 外13体
4. 創建年代 承応年間
5. 形状 座像

(1) 全高	高	36 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	29 cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	20 cm	巾	12 cm
(4) ひざ張り	高	4 cm	巾	13.5 cm
(5) 台座	高	2.5 cm	巾	9 cm
(6) 持もの		3		12

現在の状況 優 可

## その他参考事項

創建 明らかでないが承応2年（1653）の頃ではと推定されている。

祭礼 旧暦9月19日とし部落の行事として毎年行われている。以前は出店等も並び賑わいを見た。

由来 玄高寺が馬見原より移転のとき建立されたと云われ、元藩主細川家の伝片卑や金剛兵衛の作と伝えられる九曜の紋入の朱鞘の名刀が保在されていたというも現在は不明である。

一説には、本堂は1000年前の創建で弊立宮の神護寺として栄えた寺ともいわれている。



## 町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字菅尾 大久保三又路
2. 社名等 大師堂
3. 種別、祭神及び仏像名 弘法大師像 外3体
4. 創建年代 不明
5. 形状 座像

(1) 全高	高	26 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	16 cm	巾	10 cm
(4) ひざ張り	高	12 cm	巾	3 cm
(5) 台座	高	10 cm	巾	22 cm
(6) 持もの				

現在の状況 優良可

その他参考事項

創建 不明

祭礼

その他 弘法大師外数体が祀ってある。



## 町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字米道 赤迫
2. 社名等 観音堂
3. 種別、祭神及び仏像名 千手観音像 外3体
4. 創建年代 不明
5. 形状 立像

(1) 全高	高	40 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	29 cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	24 cm	巾	7.5 cm
(4) ひざ張り	高	cm	巾	cm
(5) 台座	高	11 cm	巾	10 cm
(6) 持もの				

現在の状況 優 良 可

## その他参考事項

千手観音外2体が安置してある。その歴史は古いと言われているが棟簡の文字が判断出来ずその由来が判明できない。



## 町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字米迫 大迫
2. 社名等 地藏堂
3. 種別、祭神及び仏像名 地藏菩薩像 外6体
4. 創建年代 不明
5. 形状 座像

(1) 全高	高	3.8 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	3.1 cm	巾	1.4 cm
(4) ひざ張り	高	5 cm	巾	1.5 cm
(5) 台座	高	9.1 cm	巾	20.5 cm
(6) 持もの	錫杖			

現在の状況 優 良 可

## その他参考事項

火伏地藏、馬頭観音、天神が合祀されている  
 古老の言によると、地藏尊像を運ぶ途中希望に  
 よって現在地に留まったとある。



## 町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字今 今村
2. 社名等 八木山慈眼寺
3. 種別、祭神及び仏像名 不動明王像 外7体
4. 創建年代 天正年間
5. 形状 座像

(1) 全高	高	65 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	57 cm	巾	20 cm
(3) 足もと～頭長	高	cm	巾	cm
(4) ひざ張り	高	cm	巾	cm
(5) 台座	高	8 cm	巾	26 cm
(6) 持もの	劍			

現在の状況 優 良 可

## その他参考事項

創建 合祀の十一面観音像に天正三年正月7日と記してある。

例祭 毎年9月18日「観音様祭り」とし、組内一同会し

て煮染をつくり一日を楽しむ秋の彼岸にお籠がある。

その他 八木字堂床にあったものを寛永年間(1624)

頃移転したものと云われている。



## 町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字米山 古畑
2. 社名等 公民館内合祀
3. 種別、祭神及び仏像名 菅原道真公 外数体
4. 創建年代 不明
5. 形状 座像

(1) 全高	高	18 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	15.5 cm	巾	8.5 cm
(3) 足もと～頭長	高	cm	巾	22 cm
(4) ひざ張り	高	3.5 cm	巾	10 cm
(5) 台座	高	2.5 cm	巾	13 cm
(6) 持もの				

現在の状況 優 ㊦ 可

## その他参考事項

創建については不明

例祭 彼岸の中日に有志が集い、祭礼を行っている。



## 町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字米山 後山
2. 社 名 等 公民館内合祀
3. 種別、祭神及び仏像名 大日如来像 外 1 1 体
4. 創 建 年 代 不 明
5. 形 状 座 像

(1) 全 高	高	3 2 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	2 5 cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	1 8 cm	巾	6 cm
(4) ひざ張り	高	4 cm	巾	1 2 cm
(5) 台 座	高	4 3 cm	巾	1 1 1 0 cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 ④ 可

## その他参考事項

古畑の天満宮に安置されている菅原道真公、後山の大師堂に合祀されていた弘法師像外10数体を公民館に昭和 年 月 日に遷仏合祀したものである。

祭礼 春分の日頃行われる、手造りの料理で村人相集り祭礼が行われている。



## 町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字今下村
2. 社名等 不動尊堂
3. 種別及び仏像名 不動明王像 外3体
4. 創建年代 不明
5. 形状 座像

(1) 全高	高	4.8 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	4.3 cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	3.7 cm	巾	1.3 cm
(4) ひざ張り	高	7.5 cm	巾	1.0 cm
(5) 台座	高	5 cm	巾	1.0 cm
(6) 持もの				

現在の状況 優 ◎ 可

## その他参考事項

創建 不明

祭礼 秋分の日にお籠りをし、2人1組にて山菜料理をつくりもてなしをする。下村は10人の組員である。

その他 歯の神様とも云われ昔は歯痛のときお参りしたという



## 町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字今 滝下
2. 社名等 観音堂
3. 種別、祭神及び仏像名 観音菩薩像 外4体
4. 創建年代 永正6年
5. 形状 立像

(1) 全高	高	41 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	34 cm	巾	20 cm
(4) ひざ張り	高	4 cm	巾	22 cm
(5) 台座	高	7 cm	巾	26 cm
(6) 持もの				

現在の状況 優 ㊦ 可

## その他参考事項

創建 永正6年（1509）己巳正月18日  
（つちのと、み）

例祭 現在の観音像は以前は現在地の岩穴に安置されていたが、岩崩水により移転したものであるが、此の年月は判っていないと云う。「滝下の観音さん」として近郷に知れ縁日の正月18日には相当の賑いであった。と伝え聞く。



## 町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字下塩出 黒原
2. 社 名 等 観 音 堂
3. 種別、祭神及び仏像名 三面観音菩薩像外5体
4. 創 建 年 代 応永年間
5. 形 状 座 像

(1) 全 高	高	20 cm	厚	10 cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	13 cm	巾	7 cm
(4) ひざ張り	高	9 cm	巾	2.5 cm
(5) 台 座	高	$\frac{4}{2}$ cm	巾	$1\frac{2}{7}$ cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 良 可

その他参考事項

創建 定かでないが懸奉の鰐口に応永22年申（1415）  
12月と刻まれている。

例祭 秋分日に「お籠り」の行事がある。

由来 敷地内に火伏願意のため経石が数千個埋られている。

慶長15年（1610）火伏塚が建立され、明治27～  
28年の戦役の戦捷記念塔を吉田正明氏が建立してい  
るこの阿弥陀堂は吉田氏宅から移転されたものであると  
聞く。



## 町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字上塩出 牧野

2. 社 名 等 天 満 宮

3. 種別、祭神及び仏像名 菅原道真公 外5体

4. 創 建 年 代 不 明

5. 形 状

(1) 全 高	高	2 7 cm	厚	7. 5 cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	2 7 cm	巾	1 3 cm
(4) ひ ざ 張 り	高	cm	巾	cm
(5) 台 座	高	cm	巾	cm
(6) 持 も の				

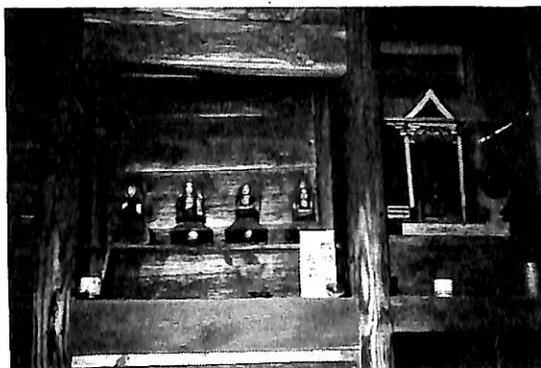
現在の状況 優 ④ 可

その他参考事項

創建 不明

例祭 特定の日はないが、村人達が花や榊を供えている。

その他 上塩出牧野と清和村長成を結ぶ道沿いの小高い丘に樹令250年といわれる「竜王の松」がある。その横に祠られている道真公像外5体の大師像が祠られてある。



## 町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字上塩出上ノ原
2. 社名等 如来堂
3. 種別、祭神及び仏像名 阿彌陀如来像 外3体
4. 創建年代
5. 形状 立像

(1) 全高	高	51.5 cm	厚	8 cm
(2) 台座～光背	高	30 cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	23 cm	巾	11 cm
(4) ひざ張り	高	cm	巾	cm
(5) 台座	高	9 4 cm 5	巾	5 24 cm 25
(6) 持もの				

現在の状況 優 良 可

その他参考事項

創建、例祭については定かでない。



## 町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字八木 神之木

2. 社名等 観音堂

3. 種別、祭神及び仏像名 十一面観音像 外8体

4. 創建年代

5. 形状 座像

(1) 全高	高	29 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	20.5 cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	12 cm	巾	7 cm
(4) ひざ張り	高	3.5 cm	巾	10 cm
(5) 台座	高	4 2 cm	巾	10 7 cm
(6) 持もの		2.5		10

現在の状況 優良可

その他参考事項

創建 不明

祭例 春分の日八木地区全員が集まり手造り料理でお祭りをし、また秋分の日の前夜から神之木地区でお籠りをして泊る。春秋2回の大祭には御神酒、お肴を供える。

その他 安置してある「十一面観音像」は永寿寺の裏にあったものを移したものと云われる。



## 町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字八木 八矢
2. 社名等 天満宮
3. 種別、祭神及び仏像名 菅原道真公 外8体
4. 創建年代 文政8年(1826)
5. 形状 座像

(1) 全高	高	32 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	27 cm	巾	cm
(4) ひざ張り	高	2.5 cm	巾	cm
(5) 台座	高	5 cm	巾	31.5 cm
(6) 持もの				

現在の状況 優 ◎ 可

## その他参考事項

創建 文政8年の作(1826)とあり。

例祭 春分、秋分の両日八木地区全員で婦人会の手造り料理で祭礼を行なう。昔はお籠をしていた。

由来 定かでない。



## 町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字八木 八矢
2. 社名等 八矢観音堂
3. 種別、祭神及び仏像名 三面観音像 外2体
4. 創建年代 天保15年(1844)
5. 形状 座像

(1) 全高	高	44 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	30 cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	7 cm	巾	12 cm
(4) ひざ張り	高	cm	巾	cm
(5) 台座	高	7 3.5 cm 4	巾	14 9 cm 21
(6) 持もの				

現在の状況 優良可

## その他参考事項

創建 天保15年

例祭 春、秋分の年二回、八木地区全員で祭礼を行なう。昔ながらの手造り料理で楽しい一日を送る。昔はお籠りもしていた。

由来 福士寺観音堂とあり、境内に宝塔の一部が残されている。境内に宝塔の一部が残っていることから由緒ある堂であると思われる。



## 町内木造物調査

1. 場 所 蘇陽町大字花上 花寺

2. 社 名 等 菅原神社

3. 種別、祭神及び仏像名 菅原道真公 外7体

4. 創 建 年 代 享保20年

5. 形 状 座 像

(1) 全 高	高	7 6 cm	厚	cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	6 4 cm	巾	cm
(4) ひざ張り	高	1 2 cm	巾	3 8 cm
(5) 台 座	高	1 2 cm	巾	5 9 cm
(6) 持 も の				

現在の状況 優 ◎ 可

## その他参考事項

創建 享保仰（ひのとう）20年10月25日（1736）

祭例 不明

由来 不明



## 町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字花上 中神働

2. 社名等 地藏堂

3. 種別、祭神及び仏像名 弘法大師像 外4体

4. 創建年代

5. 形状 座像

(1) 全高	高	3.4 cm	厚	1.4 cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	3.0 cm	巾	1.3 cm
(4) ひざ張り	高	7.5 cm	巾	1.8 cm
(5) 台座	高	4 cm	巾	2.5 cm
(6) 持もの				

現在の状況 優 ㊦ 可

その他参考事項

創建 明らかでない。

木像仏の外に石仏三体が合祀されており、  
薬師如来・不動明王・弥勒如来がそれである。



## 町内木造物調査

1. 場所 蘇陽町大字花上 下神働
2. 社名等 釈迦堂（大師堂）
3. 種別、祭神及び仏像名 釈迦如来像 外7体
4. 創建年代
5. 形状 立像

(1) 全高	高	124 cm	厚	34 cm
(2) 台座～光背	高	cm	巾	cm
(3) 足もと～頭長	高	62 cm	巾	cm
(4) ひざ張り	高	12 cm	巾	8 cm
(5) 台座	高	cm	巾	cm
(6) 持もの				

現在の状況 優 ◎ 可

## その他参考事項

創建 例祭等については明らかでないが、下神働地内の村はづれにあったものを現在地に移したものである。

